向學新聞

発行所
特定非営利活動法人
国際留学生協会
〒185-0011 東京都国分寺市本多2-6-5
電話（042)349-6392
1部330円（本体300円）
年4回1日発行
（1月、4月、7月、10月）
郵便振替口座 00180-2-278722
https://ifsa.jp
kokusai@ifsa.jp

編集方針
一、国際交流の発展促進
一、留学生への物心援助
一、留学生の向学心助長

留学生の国内就職者数過去最高

国内就職者数3年ぶりに増加
在留外国人留学生数は微増

出入国在留管理庁は2023年12月、令和4年における留学生の日本企業等への就職状況について、統計を公開した。この統計は、2022年中に、在留資格を「留学」から働くための在留資格に変更した人数がまとめられている。2022年新卒（同年3月から秋に学校を卒業）留学生たちの動向がうかがえる。

在留資格変更が許可された人数は、過去最高の3万3415人だった。コロナ禍の影響で2年連続減少していた人数が、3年ぶりに増加に転じた。また、申請の処分数に対する許可数（許可率）も94.5%と過去最高の数字となった。

業種別の許可人数では、非製造業が3万9505人、製造業が7131人となり、非製造業が割合も前年比増加率も高い（※）。

※業種について複数の項目にチェックがあったものは重複して計上している。

就職先企業等の従業員数別では、49名以下が41.6%と最も多く、299人以下で全体の68.6%と、3分の2を占め、多くの留学生が、中小企業等で活躍している状況がうかがえる。

最終学歴別では、専修学校が1万6191名（48.5%）と最も多く、全体に占める割合が近年伸び続けている。

在留留学生数

同庁は同年10月、「令和5年6月末現在における在留外国人数について」を公表した。在留外国人数は、322万3858人（前年末比14万8645人増）で、過去最高を更新した。

在留資格別の人数は、図2の通り。「留学」は30万5916人（同比5278人増）で、この半年の増加数は微増に留まり、まだコロナ前の人数まで回復していない。

在留資格別で対前年末増減率が最も大きかったのは「特定技能」で、半年間で4万2178人増（32.2%増）となった。

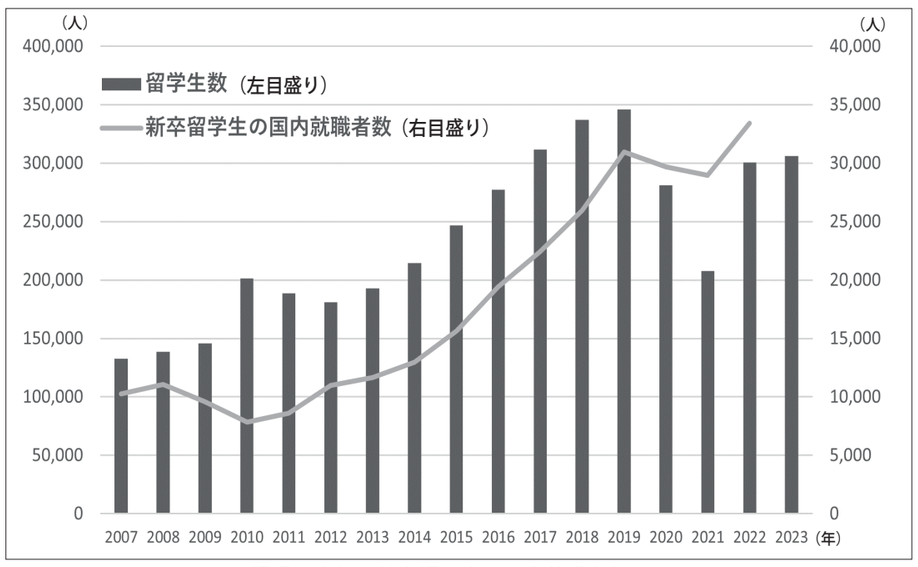

図1　在留留学生数と新卒留学生の国内就職者数

※留学生数は2023年のみ6月末時点、それ以外の年は12月末時点の人数

入管庁「令和5年6月末現在における在留外国人数について」
「令和4年における留学生の日本企業等への就職状況について」をもとに作成

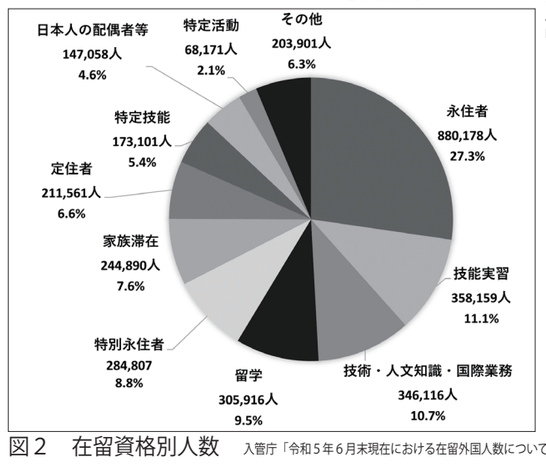

図2　在留資格別人数　入管庁「令和5年6月末現在における在留外国人数について」

技能実習制度廃止
新制度は「人材確保」と「人材育成」

外国人技能実習と特定技能制度のあり方を検討する政府の有識者会議は、2023年12月、最終報告書を取りまとめ公開した。

制度見直しにあたっての三つの視点として、「外国人の人権保護」「外国人のキャリアアップ」「安全安心・共生社会」を掲げ、既存の技能実習制度を廃止し、特定技能1号への移行を前提とした新制度を創設すべきと提言した。

新制度では、やむを得ない場合の転籍の範囲を拡大・明確化し、手続きを柔軟化することや、一定の条件下で、本人の意向による転籍が可能になる。

今後、日本でも反グローバリズムを唱える参政党や日本保守党が支持を拡大していくのかが注目される▼ウクライナからパレスチナへ、なぜ戦火は止まないのだろうか。今なお、あらゆる罵詈雑言を浴びせられるトランプ氏だが、大統領任期中、大規模な戦争や紛争を一度も起こしていない事実は評価されてしかるべきだ。地球上の半数以上の人々が参加する選挙の結果が、より平和な世界へと向かうものになることを心から願うものである。

日本ASEAN友好協力50周年
日本留学フォーラム

アスジャ・インターナショナル（以下、ASJA）は2023年11月24日（金）、25日（土）に日本留学フォーラムを開催した。同イベントは、日本ASEAN友好協力50周年認定事業として開催され、「ASEANからの留学生が見た日本　過去・現在・未来」のテーマで様々なプログラムが実施された。

開会式では、外務省堀井巌外務副大臣が出席し、ASEAN元日本留学生評議会（以下、ASCOJA）及びASJAによる日ASEAN交流への尽力に敬意を表明した。また、今次フォーラムが次の50年に向けての礎となる会議となることを期待する、と述べた。また、ASCOJAが日本とASEANの相互理解の推進に尽力し、日本とASEANの友好親善に寄与してきた貢献を讃え、堀井副大臣からASCOJAに対して、外務大臣表彰の表彰状が授与された。

同イベントでは、ASEANからの留学生による、日本での留学生活の紹介やそこで感じる日本留学の魅力を紹介。また、元日本留学生達からは、日本留学の経験の振り返りや現在の日ASEANの架け橋としての活動事例紹介、日本での就労事例、日本の若者世代とASEAN留学生による未来の日ASEAN関係についての意見交換等が実施された。

12月17日に開催された日ASEAN友好協力50周年特別首脳会議で採択された共同声明では、心と心のつながり、経済・社会の共創、平和と安定のためのパートナーであると示された。共に出された実施計画には、ASJA及びASCOJAを通じた学生交流事業やスポーツ、文化・知的交流事業、日本語教育など、様々な分野における人的交流を一層促進することが記されている。

活動紹介の様子
写真提供：アスジャ・インターナショナル

世界の窓

2024年は「歴史上最大の選挙イヤー」である。世界76カ国、世界の人口の半分以上の40億を超える人々が国政レベルの選挙に参加する。アジアでは1月13日の台湾総統選・議会選を皮切りに、2月のインドネシア大統領選挙、4月の韓国総選挙、そしてインドでも春に下院の総選挙が行われる▼世界全体を見渡すと、3月にロシア大統領選挙、6月初旬にはメキシコ大統領選挙とEU議会選挙が行われる。そして11月5日には、選挙イヤーのクライマックスとして、今後の世界史を左右する米国大統領選挙が控えており、バイデン対トランプの前回と同じ対決が見込まれている▼選挙イヤーの動向を占う上で注目されるのは、昨年終盤に行われたオランダ総選挙とアルゼンチン大統領選挙の結果だ。オランダでは、「オランダのトランプ」と言われることもあるウィルダース党首が率いる極右政党PVVが大勝。アルゼンチンでも「アルゼンチンのトランプ」、右派のミレイ氏が決選投票で圧勝した。いずれも「反グローバリズム」の潮流を反映する選挙結果であり、この潮流がさらに加速するか否かが、最大の焦点となろう▼一方、日本では、今年9月末までに自民党総裁選が実施される。当初、昨年内の衆院解散・総選挙を目論んでいた岸田首相は、内閣支持率低下のため選挙を打つことが出来なかった。減税を打ち出すも支持率低下は止まらず、岸田氏に代わる首相誕生が確実視されている。リーダーの交代と並んで、共生社会の実現に向けたロードマップ」に基づくもので、共生社会への関心や理解を深めていくことを目的としている。

初回となる2024年の推進月間では、中央イベントとして「オール・トゥギャザー・フェスティバル」を1月21日（日）、東京国際交流館（東京都江東区青海）で開催する。同イベントは、「楽しむ！学べる！世界の文化と共生社会」をテーマに、日本人も外国人も、参加者が楽しみながら他国の文化や習慣に触れたり、外国人との共生社会について知ることができる展示、体験型ワークショップ、ステージ企画等が予定されている。

『ライフ・イン・ハーモニー推進月間』
1月21日（日）啓蒙イベント開催

政府は、2023年11月28日の閣議決定で、毎年1月を「ライフ・イン・ハーモニー推進月間」とすることを決定した。これは、2022年6月に閣議決定した「外国人との

主な記事から
▼留学生の就職支援（2）
▼国家資格「愛玩動物看護師」（3）
▼日本文化の底力（4）

YUMOT 山口大学大学院技術経営研究科
Yamaguchi University Graduate School of Innovation and Technology Management

技術と経営の2つの視点から問題に取り組み、創造的な成果を生み出していくビジネスリーダーを育成します！
We foster business leaders, who would address various issues in societies, companies, and organizations from synthetic viewpoint of technology and management, and have capacity to achieve creative results!

Admission Information
■ Autumn Classes, Taught in English
■ Length of Course: Two years
■ Degree: Master of Technology Management
■ Examination Schedule
・Application/ Late April ～ Early May
・Interview/ Early June
・Enrollment Date/ Oct. 1

Our Mascot, "Yama-me"

Contact information of our school:
Graduate School of Innovation and Technology Management,
Yamaguchi University,
2-16-1, Tokiwadai, Ube, Yamaguchi
755-8611, JAPAN
Tel: +81-836-85-9876
Fax: +81-836-85-9877
E-mail: mot@yamaguchi-u.ac.jp
Website: https://mot.yamaguchi-u.ac.jp

留学生向け就職イベント
社長LIVE2025
ZOOM開催！
2024.3/13Wed.
海外営業・国際業務志望者　9:30~12:30
エンジニア・技術職志望者　14:00~17:00
主催・お問合せ：(株)ASIA Link　TEL 042-312-1074　info@asialink.jp

留学生参加エントリー受付中！

東京に4万円～住める！
家具家電付き
光熱費無料
WiFi無料

今だけ！Wキャンペーン※諸条件あり
初期費用 0円＋0円 家賃1ヶ月
English　日本語
東京最大級7,000室のシェアハウス管理数！
株式会社クロスハウス

協賛企業・協賛学校募集のお知らせ
『留学生支援』×『多文化共生社会の推進』
特定非営利活動法人国際留学協会　事務局（向学新聞編集部）